

未成年喫煙防止の取り組み

～受動喫煙防止啓発CDR作成を通じて～



日本プライマリ・ケア連合学会 利益相反 (COI) 開示

筆頭演者名: 加藤一晴 (浜名医師会)
共同演者名: 安田肇次 (浜松市医師会) 加治正行 (静岡市保健所長)

筆頭演者ならびに共同演者に、開示すべきCOIはありません。

平成25年度 ふじのくに受動喫煙防止事業 啓発CDR作製主旨

- ・ 閣議決定された2022年迄の国民喫煙率12.2%を達成するため
- ・ 喫煙率40%と推定されている30～50歳代の親を持つことも たちへのアプローチが大切
- ・ 医師、歯科医師、薬剤師の専門職によるネットワークを構築し、更に、当該地区の小学校・中学校・高等学校での受動喫煙防止の取り組み
- ・ 無煙世代を育成するためには、医師、歯科医師、薬剤師がそれぞれの立場から、標準化された資料 (CDR) を作製し、それを使用し、継続して啓発していくことが必要

4 がん死減少の目標達成困難 厚労省が対策再検討へ

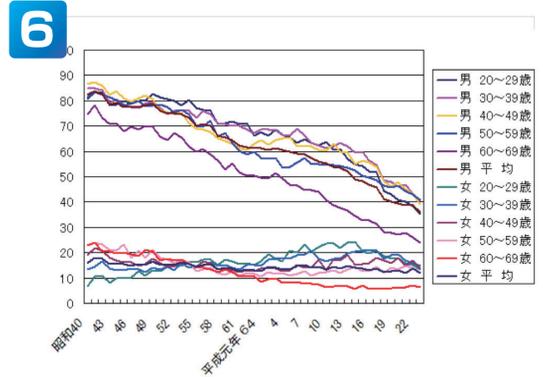
信社 行政・政治 2015年5月20日 (水) 配信共同通

・ 胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮頸 (けい) がんを早期発見するための検診受診率は16年度までに50%を目指しており、向上はしてきたが、13年の実績では最も高い男性の肺がん検診でも47・5%

・ 成人喫煙率は22年までに12%に減らすとの目標を掲げているが、10年は19・5%となっている

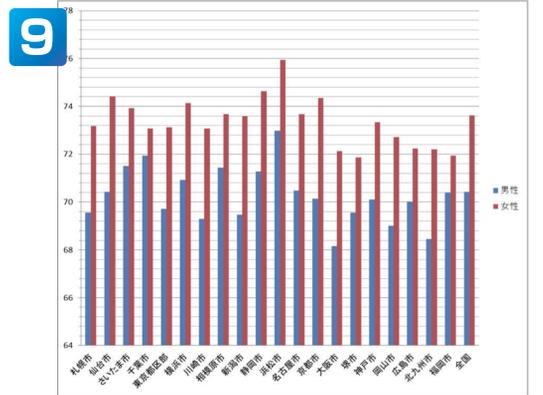
5 受動喫煙防止啓発CDR (目標と対象)

- 目標
- 1) 健康日本21目標: 2010年までに未成年喫煙をなくす
 - 2) 未成年者喫煙禁止法 (明治22年制定) の徹底
- 寄贈対象
- | | |
|------|-------------------|
| 小学校 | (浜松地区105校 湖西地区6校) |
| 中学校 | (浜松地区49校 湖西地区5校) |
| 高等学校 | (浜松地区31校 湖西地区2校) |



7 しかし、市民喫煙率は・・・

指標	対象	平成23年度 (現状値)	平成28年度 (中間目標値)	平成34年度 (最終目標値)	
1	たばこの害の認知度 (対象に関する事項)	13～29歳	53.4%	55.0%	60.0%
2	未成年者の喫煙率	13～19歳	0.5%	0.4%	0%
3	妊婦の喫煙率	妊婦届出者	2.2%	1.7%	0%
4	子どものいるところで喫煙している人の割合	1～12歳保護者	35.5%	10.0%	3.0%
5	受動喫煙の機会があった人の割合 (1週間)	13～29歳	47.7%	30.0%	15.0%
6	喫煙率	20～29歳	16.4%	12.0%	10.0%
		30歳以上	16.0%	12.0%	10.0%



10 法的根拠・準ずる指針

- ① 未成年者喫煙禁止法 明治22年制定
- ② 健康増進法 (第25条) 受動喫煙の防止
- ③ 健康日本21 (2010年までに未成年喫煙をなくす)
- ④ 「新訂 喫煙・飲酒・薬物乱用防止に関する指導の手引」 中学校編 (平成7年3月31日発行) 生涯にわたって喫煙しない態度
- ⑤ たばこ規制枠組み条約 (FCTC) 第8章 タバコ煙の暴露からの保護

11 受動喫煙対策委員会

医師・歯科医師・薬剤師・看護教諭を主体とした (CDR製作のための専門部会立ち上げ) 委員会の立ち上げ 茨城県医師会理事の平間敬文先生を招聘

★学習指導要領で指針の無いことに 踏み込むことの困難さ
★合法ドラッグ (薬物) として認識させる
★身体に悪いものなのに何故吸っているのか?
★どうして止められないのか?
★どうして売っているのか?
★ここ数年の喫煙者減少で、健康被害は6%減少

12 合計8回の作業部会 (平成25年度末まで)

- | | | | |
|-----|--------------|--------------|--------|
| 第1回 | 平成25年 9月15日 | 市内カンファレンスルーム | (6名参加) |
| 第2回 | 平成25年 10月1日 | 浜松市歯科医師会会議室 | (7名参加) |
| 第3回 | 平成25年 12月19日 | 浜松市薬剤師会会議室 | (5名参加) |
| 第4回 | 平成26年 1月17日 | 市内カンファレンスルーム | (4名参加) |
| 第5回 | 平成26年 2月5日 | 市内医療機関 | (2名参加) |
| 第6回 | 平成26年 2月6日 | 市内カンファレンスルーム | (3名参加) |
| 第7回 | 平成26年 2月18日 | 市内医療機関 | (2名参加) |
| 第8回 | 平成26年 2月20日 | 市内カンファレンスルーム | (2名参加) |
- 作製に当たり、①年齢に応じた平易な表現 ②初心者でも講演が出来るように動画を映像を増やす ③演者も主旨が理解できるような法的根拠 ④副読本の準備

13 企画～製作まで

- ①小学生・中学生・高校生向けversion
- ②医師・歯科医師・薬剤師のスライド資料
- ③動画を挿入し、初心者でもプレゼン可能
- ④挿絵 (足立典正画伯に依頼)
- ⑤挨拶文 (浜松市やらまいか大使 林望さん)
- ⑥副読本の用意 (東海電子印刷)
- ⑦製作 (遠鉄システムサービス) 梱包・発送
- ⑧記者会見 (浜松市役所・湖西市役所)



15 記者会見



16 記者会見



17 啓発CDR関連投稿



18



<結 語>

- ①未成年喫煙防止啓発 CDR を作成 第一報
- ②無煙世代を育てる事が大切
- ③多くの関係者の有効利用を期待
- ④今後は配布先教育施設へのアンケート調査も考えている

第6回日本プライマリケア学会の皆様 このような機会を与えて頂き、感謝致します。